

JENESYS2015 招へいプログラム

対象国：アセアン 10 か国, 東ティモール

テーマ：社会「戦後 70 年の歩み・平和構築」の記録

1. プログラム概要

ASEAN10 か国及び東ティモールより、「戦後 70 年の歩み・平和構築」に関心を有する大学生 105 名が 12 月 6 日から 12 月 15 日までの 9 泊 10 日の日程で来日し、日本の政治、社会、歴史、文化及び外交政策等に関する理解促進及び日本の魅力等の積極的な発信を目指したプログラムに参加しました。

2. 参加国・人数

105 名(インドネシア 10 名、カンボジア 10 名、シンガポール 10 名、タイ 10 名、東ティモール 5 名、フィリピン 10 名、ブルネイ 5 名、ベトナム 10 名、マレーシア 10 名、ミャンマー 20 名、ラオス 5 名 ※50 音順)

3. 訪問地

東京都、広島県、長崎県

4. 日程

12 月 6 日(日)、7 日(月) 羽田国際空港/成田国際空港より入国

12 月 7 日(月) 来日オリエンテーション

12 月 8 日(火)【日本理解講義】

【歴史・伝統文化】浅草、江戸東京博物館

12 月 9 日(水)【最先端技術】日本科学未来館

12 月 10 日(木)～12 月 13 日(日) 4 グループに分かれ、各地方を訪問

* グループ A/B: 広島県訪問

【地場産業】筆の里工房

【企業視察】広島テレビ、NHK 広島

【日本文化体験】茶道

【視察】語り部講話、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館、
広島平和記念資料館

【学校交流】広島大学

ホームステイ、ワークショップ(報告会準備)

* グループ C/D: 長崎県訪問

【視察】長崎原爆資料館、語り部講話、平和記念公園

【学校交流】長崎大学

【企業視察】NBC 長崎放送

【日本文化体験】おすし作り

ホームステイ、ワークショップ(報告会準備)

12月14日（月）東京へ移動、成果報告会（訪日成果・帰国後活動計画発表）

12月15日（火）羽田国際空港／成田国際空港より出国

5. プログラム記録写真

グループ A/B（広島県訪問）の記録



12/8【日本語理解講義】（東京都）



12/10【企業視察】NHK 広島（グループ B）
（広島市）



12/10【日本文化体験】茶道（グループ A）
（広島市）



12/10【地場産業】筆の里工房（グループ B）
（熊野町）



12/11【講義】語り部講話、国立広島原爆死
没者追悼平和祈念館（広島市）



12/11【学校交流】広島大学（広島市）

グループC/D（長崎県訪問）の記録



12/10【講義】語り部講話（長崎市）



12/10【視察】平和公園（長崎市）



12/10【学校交流】長崎大学（長崎市）



12/11【地域産業】NBC 長崎放送（長崎市）



12/11【日本文化体験】おすし作り（諫早市）



12/12 ホームステイ（諫早市・西海市）

6. 参加者の感想

◆ 東ティモール 学生

帰国後、皆と共有したい最も重要なことは日本の慣習です。日本は世界の先進国であるにもかかわらず、伝統を守り推し進めています。日本人は時間を守り他者に配慮することでも有名です。配慮の対象は人ばかりでなく、法律や環境も大事にしています。アジア諸国の中では稀有な存在です。なぜなら、私が訪問したアジアの国の多くは、国の規則や法律に忠実には従っていなかったからです。国の発展を支える一助として、人・法律・環境に配慮することを知り、理解を促すことは大変役に立ちます。したがって、私の所属する組織・地域・国にこれらの学んだことを伝えていきます。

◆ タイ 学生

帰国したら、日本で経験したすべての知識を共有するつもりです。トイレや道路や町並等、日本で見えたものはすべて非常に近代的で美しいです。日本には多くの先進技術があります。日本は原爆で大きな被害を受けた国でもあり、帰国したら、広島平和記念公園で聞いた被爆体験講話や、第二次世界大戦中の日本の歴史についても話をするつもりです。私たち全員にとって平和がいかに大切かについても話します。より良い世界を作るために最も重要なのは平和だと思います。

◆ ベトナム 学生

JENESYS プログラムに参加し、私は多くの経験をしました。日本文化は近代的であるだけでなく、次世代に残すための伝統も守っています。訪問先で最も印象に残った場所の一つは原爆資料館です。資料館では核戦争が残酷であること、戦争で失い傷ついた日本がいかに復興したか、また今日世界の経済大国の一つとなりいかに世界中に影響を与えているかが分かりました。今回の経験や、歴史や文化などプログラムで学んだことを友人や家族に伝え、日本の人々やこの美しい国のことを理解してもらおうと思います。さらに、私や友人は最善を尽くして平和構築者となり、世界中の人々や国を近づけたいと思います。私や友人たちにこの価値のある経験を与えてくれた JENESYS プログラムに感謝します。

◆ ラオス 学生

長崎の NBC で見せてもらったフィルムから原爆のことを学んで大変気の毒に感じ、涙がこぼれました。決して繰り返してはならないと全員が感じていたと思います。それから最も感動したのは、ホームステイでお世話になったホストファミリーの皆さんです。大変親切にして下さり、私はパパ、ママと呼ばせていただきました。ラオスに帰国後は JENESYS プログラムに関する報告書を作成し大学に提出したいと思っています。そして日本での原爆の体験に関するビデオを見るよう大学でも提案しようと思います。日本についてしっかり伝えていくために、これから出来るだけのことをしていきたいと思っています。

7. 報告会（帰国後の活動内容の発表）

 EXPECTATIONS Colonized other countries during World War II • Malaysia, Singapore, Philippines, Indonesia FINDINGS Reconnect with other countries (ASEAN COUNTRIES) • Japan Self Defense Force: Not considered as a military system	How? • Conduct Focus Group Discussions (FGDs) to share our experiences. • Interaction • Include the project in seminars in schools. • Conduct campaigns through banners, brochures, posters and pictures.  
日本での気づき	アクションプラン
How ■ Social media and mass media ■ #JENESYS2015PeaceAttack ■ Peace campaign ■ Peace building events	 #YOUTHWANTSPEACE NATIONAL SUMMIT PEACE BUILDING
アクションプラン	アクションプラン
What? (Details of the action) • Film Discussion 	What? (Details of the action) • Workshop about Peace Building 
アクションプラン	アクションプラン